

- 「危機に対する強靱な社会の構築」、「北海道の真価の発揮」、「社会の変革への挑戦」の3つを重視すべき視点として今後の政策展開の基本方向を明確化
- 総合計画とSDGsの達成を見据えた政策展開との関係性を可視化
- 創生総合戦略、強靱化計画とともに、Society5.0推進計画、地球温暖化対策推進計画を重点戦略計画に位置づけ、関連する施策を重点的・分野横断的に推進

ポストコロナの未来を切り拓く3つの視点

ゼロカーボン北海道の実現

- 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換
- 再生可能エネルギーの導入拡大
- エネルギーの地産地消の推進や、送電網等の電力基盤の増強などによる事業環境の整備
- ZEB、ZEHの普及など、建築物の脱炭素化
- クリーン農業・有機農業などの環境保全型農業の取組の推進
- 森林等の二酸化炭素吸収源の確保



北海道 Society5.0の実現

- スマート農林水産業の推進
- 産業の変革に向けたデジタル技術の活用推進
- 地域IT企業の競争力強化
- 本道が直面する課題の解決に向けたIoTの実装
- デジタル人材の育成・確保
- 地域におけるICT学習機会の創設



変革への挑戦

真価の発揮

強靱な社会

多彩な強みと新たな価値の発揮

- アドベンチャートラベル等の体験型観光の推進
- 関係人口創出・拡大に向けた取組の推進
- 北海道の魅力の発信を通じた、幅広い年代層の移住・定住の促進
- 北海道の魅力を活かしたワーケーションの推進
- サテライトオフィスや本社機能の移転などの誘致活動の展開
- 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録による効果を地域の賑わいの創出につなげる取組の推進



感染症等に強い安全・安心な地域づくり

- 感染者の早期探知や早期介入に資する保健所の体制整備、地域の実情に即した適切な医療・療養体制の確保
- サプライチェーンの強靱化
- 感染症や災害発生時における学びの確保
- 持続可能な公共交通・物流の構築
- 地域の特性を活かした自立分散型エネルギーシステムの構築・展開

